

岳連  
ニユース

宝永

URL : <http://www.shizuokam.com>

(一社)静岡県山岳・ス  
ポーツクライミング連盟

〒422-8076  
静岡市駿河区八幡3-1-17  
TEL(FAX)054-288-7512  
編集発行/総務委員会  
令和5年11月13日発行  
第15号



少女ボルダー決勝

成年男子の競技は、初日にボルダー予選、2日にリード予選で、3日目が両種目の決勝という日程であった。

ング競技は10月8日から10日の間、南さつま市の加世田特設スポーツクラインミング競技場でリードボルダリングの競技が実施された。

今年の国体は、回数を  
つけずに「特別国体」と  
称して鹿児島県で開催さ  
れた。スポーツクライミ

状況であつた。鈴木が3課題は一撃であつたがスラブ課題はゾーン取までで苦戦した。原は

リード3位 ボルダーアルピニング5位

少年女子皇后杯6位入賞



少女リード決勝



成男リード予選

強い部分でフォール。永嶋は強傾斜部分を突破し、好成績をマーク。チーム

少年女子の競技は、初日はリード予選。成年男子と異なりAルートとBルートの2本をフラッシュシング方式で登る。狩野は2ルートとも一番傾斜の

引他余の部分でのアンダーフォール。競技終了後の結果としては、あと3手進めば決勝進出というところで、惜しくも10位であつた。

トを1本ずつ登るという競技形式である。競技順位が2番でBルートを登った。鈴木は見事完登した。その後もBルートは完登者が多く、Aルートの順位が重要となる。原は順調に高度を上げていったが、

最終日となる3日目は午前中にボルダリングの決勝、夕方にリード決勝というハードスケジュール。両者とも予選では悔いが残る登りだったと話していたが、決勝では思い切りの良い登りをみせた。予選から順位を1つ上げ

められ1完登という結果だつたが、永嶋も取れていなかつたスラブ課題のゾーンが認められチームに貢献。5位で決勝に進出した。

成績6位で競技3日目に  
行われる決勝に駒をすす  
めた。

総監督		木ノ内高嘉	静岡県山岳SC連盟	富士宮市
監督	成年男子	岩田 幸裕	浜松学芸高校(教)	浜松市
〃	少年女子	伊藤 裕貴	CRAGクライミングジム	浜松市
トレーナー	少年女子	桑原 邦昭	整え処ときわぎ	静岡市
選手	成年男子	原 賢伸	クライミングジム PUMP2	川崎市
〃	〃	鈴木 音生	静岡県立大学	焼津市
〃	少年女子	永嶋美智華	県立静岡西高校	焼津市
〃	〃	狩野 凪	浜松市立天竜中学校	浜松市

SC競技静岡県選手団

少年女子はリードとボルダリング順位で40点となり皇后杯6位と2年連続入賞し静岡県の国体成績に貢献できたと感じています。

て5位入賞を果たした。リード決勝は同時に近似したルートをオンラインサイト方式で2人同時に登る。三笠宮家の瑠子女王もご臨席された中、永嶋は最大傾斜部分で下半身を安定させ、両手を離してレストランするなど高い技術を披露し残り3手のところでフォール。3位入賞を果たした。



## 白山山頂

1年前に目的地は決まっていたのですが、私の認識不足で白山室堂小屋の手配に難儀しました。何と、4月から予約開始だったのです。何とか8月26日の土曜日に予約する事が出来ました。コロナが5類に移行した事によつて、今年は本当に山小屋の予約に苦慮した年でした。

令和5年度の「夏山登山教室」は加賀の名山・白山に登ろうという事になりました。

## 加賀の名山・白山に登ろう 夏山登山教室開催

白山には生徒9名・講師2名の11名で登りました。参加者11名のうち、9名は金曜日に集合場所の市ノ瀬の「永井旅館」に泊しました。



黒ぼこ岩

8月26日。7時40分発  
のシャトルバスにて「別当出合登山口」にコマを進めました。ここで、何回か白山に登っている小林講師からコースと注意事項の説明があり、皆で準備運動を行つて山に入りました。

R5年度山岳指導者コー  
チ1養成講習会の講習I  
が9月24日に静岡「あざ  
れあ」にて開催された。  
公認山岳指導者とは日  
本スポーツ協会(JSP)  
及び日本山岳・スポーツ  
クライミング協会(JMSC)  
によって認定され、  
コーチ1～4に分れる。

山岳指導者ユーチューブ養成講習会

指導者とは、安全・確実にかつ楽しい登山を指導できる人であり、その任務は登山者及び登山活動組織の育成と指導を行ふことと成っている。その内、今回養成の公認山岳コーチ1の役割は地域・スポーツクラブ・学校登山部等の指導者とし

人はゆつくり休む事が出来ました。  
8月27日。夜半の雨も止み、予定通りご来光を見るために4時に小屋を出発しました。約1時間で御前峰に到着。日の出までの時間は神主さまのお話を聞きました。白山の歴史と自然を聞く事が

難小屋—黒ボコ岩—白山  
室堂という高低差約1200m  
の5時間の登りです。白  
山が初めての私は正直あ  
まりにも整備されている  
ので驚きました。さすが  
環境省が重点整備してい  
る山だと感心しました。

やはり、皆さんの中頃の  
行いの賜物と思いながら、  
市ノ瀬まで下山して永井  
旅館で汗を流していたら  
また土砂降りとなりまし  
た。本当に生徒のY会長  
とマシキーさんの晴れ男  
は神がかりものと感謝し  
た靈峰の山旅でした。

出来ました。残念ながら、ガスの日の出となりましたが、山頂にいる全員で万歳三唱をしたり、思い出深い白山となりました。

その後はせっかくなので「お池巡り」に出かけました。期待していなかつたのですが、何とガスが晴れて青空となりました。素晴らしい景色を堪能した朝の散歩となりました。



### 講習会の様子

アライフの普及に努める  
ことである。

基礎理論として、登山計画、生活技術、自然保護から始まり登山医療、遭難対策、気象、法律等と多岐にわたり行われた。今後は更に実技・指導法講習として講義Ⅱは無雪期の歩行、悪場の通過、ナビゲーション、更に講義Ⅲは積雪期の歩行、雪上技術の講習が富士山御殿場口にて行われる予定。その後の修了試験に合格して晴れて指導員の資格が得られる。



(內海廣治)



鹿島槍山頂

9月30日6時30分、薄曇りの扇沢駐車場に全参加者8名（講師1名、受講生7名）が揃つた。早速講師の号令のもと、全員で入念にストレッチ体操を行い、足、腰、手をしつかり伸ばしてから、柏原新道を登り始める。いきなりの急登続きたが、曲がり角の所々で扇沢方面の展望が見事に広がる。やがて針ノ木岳の尖った

今年で通算7回目となる秋山登山教室を目指すのは、日本百名山「鹿島槍ヶ岳（2998m）」である。麓からほど近く、特徴的で優美な双耳峰の山である。

秀峰・鹿島槍を目指して  
秋山登山教室開催

ビーグが左側に見えてき

「稜線付近は紅葉がよさそうだね」上を見上げたメンバーから歎声が上がった。この辺りからよく整備された緩やかな道とな

の一人が注文に走る。すつかり緩んだ我々の財布の紐は、コーラやピザの追加購入に至った。さすがに東京でピザ職人をしていた小屋オーナーが作る自慢の一枚は、生地がモチモチ、皮がぱりぱりでまさに「絶品！」であった。ここから爺ヶ岳を経て冷池山荘に至るルートは、なんと標高差が「マイナス40m」という、ほぼ水平というか僅かに下つている珍しい登山道だ。爺ヶ岳の見事な紅葉の斜面に目を奪われながら、小さ

いに協力していただき、メスティン6個を用いての「炊き込みご飯揃い踏み」である。写真でその充実度をご覧いただきたい。

しかし、その夜の未明から降り出した雨は翌10月1日、山頂アタツク当日も降り続いた。体調の思わしくない2名を除く6名で出発するも早々に1名は引き返す。残り5名でのアタツクは、雨

その後は山荘内の自炊場で、前回の登山教室では自肅した「自炊」タイムである。今回はベテラムである。

男子鈴木 女子山本優勝  
クライミングコンテスト9月大会

9月18日にスクエアクライミングセンターでクライミングコンテストが行われ、男子22名、女子13名が参加した。

男子予選は下部でガバ系のホールドが多く、上部で締めていくルートであつた。強傾斜を超えていくところが一つの分かれ目であり、ループを抜けてトップアウトした6名が決勝へ進んだ。決勝はかなり接戦となり、トップアウト2名、4名がほぼ同じところでフォールした。タイム差での勝負にもなったが、やはり実力がある選手は体勢も安定し、スムーズに登つていいようを感じられた。

女子の予選では、中間部でカンテを使いループへと入るルートであつたループの処理能力が試され、そこを抜けた選手が

**男子鈴木 女子山本優勝  
クライミングコンテスト9月大会**

引山で一羽の雷鳥と遭遇。普しないよう細心の注意を払って進む。途中、布員合流し、往路では寄ら

こうして今年の秋の登山教室も無事に終えた。悪天候時の心構えや歩き方、小屋での生活の一工夫等、自立した登山家を目指して切磋琢磨してほしい。

プアウト2名、4名がほぼ同じところでフォールした。タイム差での勝負にもなつたが、やはり実力がある選手は体勢も安定し、スムーズに登つていくようを感じられた。

が課題以外のホールドで間違えて使つてしまい、その時点での判定となってしまったことは残念である。（岩田幸裕）

決勝へと駒を進めていた。決勝ではトップアーチはなかつたが、一手差で順位が分かれる結果となつた。最後に、営業ジムでの試合では課題外のホールドについてのため、実力のある選手



表彰者

表彰台			
男子 リード	1位	鈴木大翔	藤枝西高
女子 リード	1位	山本唯菜	城山中
	2位	船越 琉生	長田南中
	3位	宮川幸大	清水第一中
	2位	込山虹来	籠上中
	3位	狩野 風	天竜中

# 大石氏「環境省自然環境局長表彰」受賞

11月25日、環境省自然公園指導員の自然環境局長表彰伝達式が静岡県庁で行われ、当連盟から元静岡県ワンダーフォーゲル会会长の大石一博氏が受賞した。平成20年4月から現在



まで15年間にわたり南アルプス国立公園を中心とした自然保護活動を行い、登山者に対する高山植物等の保護について指導のほか、天候・装備等の情報提供や事故防止のための指導を行いつつ、登山道や登山標識の破損等の情報収集に積極的に努め、関係機関に情報提供を行うなどの功績が認められました。

県連盟としても大石氏の長年にわたる自然保護活動に対し、感謝と敬意を表すとともに、今後念いたします。

(木ノ内高嘉)

## 未来に残そう美しい山河 第6回南アルプス写真展 県内山岳4団体

第6回南アルプス写真展が静岡県山岳4団体の主催により、10月31日まで開催された。各団体から合計170点の作品が展示され、当連盟からは中遠登山クラブ

11月5日の間、静岡市役所本館「市民ギャラリー」で開催された。この写真展は、南アルプスをより深く知つていただき、自然保護に関心を抱き、美しい山河を未来に残そうと毎年開催している。よって、写真の

日時 令和5年9月4日  
18時30分～19時30分  
会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

出席者 理事18名中17名  
監事2名中0名

理事 木ノ内高嘉、内海廣治、鈴木重幸、滝田博之、出利葉義次、堀内修、篠崎勇、大石幸男、浅井徹、鈴木修、鈴木雅春、

増田浩二、望月喜久治、市動公園(リード)及び四日市市のADDICT CLIMBING

## 第2回理事会



(木ノ内高嘉)

技術や芸術性よりも南アルプスの魅力や現状を正確に伝えることに主眼を置いた写真展である。この他アイゼンやピッケル等の登山用具も展示された。

技術や芸術性よりも南アルプスの魅力を伝えることが目的である。多くの出展をお願いしたい。

### 1 報告事項

(1) 指導・遭難対策委員会  
・全国遭難対策協議会が7月7日に行われ、遭難の報告などがあった。

・「夏山登山教室」の7月9日の山伏実習山行は中止となつた。8月26日、27日の白山山行は生徒9名、講師2名で実施された。山小屋の予約を取った。山小屋の予約を取った。山小屋の予約を取った。

名に苦慮した。

た。山小屋の予約を取った。

た。山